

【証拠説明書 記載例】

※申請書とともに、証拠として文書やテープ、ディスクなどを提出する場合には、この証拠説明書を併せて提出してください。

証 拠 説 明 書

令和〇年〇月〇日

公害等調整委員会裁定委員会 御中

申請時など、事件名が未定の場合は上段のように記述してください。(△△△の部分は申請書の内容に照らして、適宜簡潔に記入してください。例：工場からの振動についての裁定申請事件)
申請後、事件名が通知されますので、その後に証拠を提出する場合は、下段のように事件名を記述してください。

申請人 甲野 太郎

申請人 甲野 太郎 と 被申請人 乙山産業 との間の

{ 公害等調整委員会に対する△△△についての裁定申請事件 } について、
{ 公調委令和〇年(〇)第〇号×××裁定申請事件 }

下記のとおり証拠説明します。

提出する文書などの題名を記載してください。
その文書などが作成された年月日を記載してください。
その文書などの作成者を記載してください。

号証	標 目	原本・写 の別	作成年月日	作成者	立 証 趣 旨
甲 1	治療費領収書	原本	〇年〇月〇日	〇〇病院	申請人が〇〇(病名・診断名)の治療のために〇〇円を支払った事実
甲 2	診断書	原本	〇年〇月〇日	〇〇病院	申請人が、〇年〇月頃から、〇〇(病名・診断名)を発症したと診断された事実
甲 3	振動測定結果	写し	〇年〇月〇日	〇〇市役所	〇年〇月〇日、〇〇市役所が実施した振動の測定結果

証拠の番号を記載してください。(申請人の場合、甲1、甲2・・・となります。)

その文書などを取り調べるときに、「原本」を取り調べてほしいか、「写し」(コピー)で取り調べてほしいかを記載してください。
(注)「原本」と記載した場合、後日、審問期日において、その文書の原本を提示していただくことになります。(申請する時点では、写し(コピー)を提出いただければ結構です。)

その証拠によって、どのような事実を証明しようとするのかを具体的に記載してください。